

様式 2

学校名（尼崎市立成文小学校）

実施日：平成28年10月14日(金)	
領 域：道徳	
取組名：情報モラル教室	
対 象：4・5年	実施場所：多目的教室
ア ねらい ネット依存やネット被害について学び、ルールやモラルを守ることの大切さを理解する。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 ・個人情報の流出、フィルタリングの効果、不正ダウンロード、ネット依存症について、実際に起きた事例を挙げながら、講師の方に話していただく。	
ウ 連携先： 兵庫県警察本部サイバー犯罪対策課	
エ 連携にむけての取組 ・事前に打ち合わせをし、学習のポイントについて話し合いをもつ。 ・学年便り、学校だより等で、保護者にモラル教室の開催を知らせるようにした。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 ・児童の感想をもとに、今後何を指導していくかを検討し、児童の実態に合った指導ができるようにする。 ・保護者にも情報モラルの啓発を図るために、ともに参加してもらえるように呼びかけ、家庭でのスマートフォン等の使い方について考えてもらえるようにした。	
カ 評価の方法 ・ふり返りシート ・児童の観察	
キ 成果 ・ネット、スマホの安全な使い方について詳しく説明を受けた。児童の実態に合った内容で大変わかりやすかった。 ・児童の感想から、「普段何気なく使っているスマホの危険さを改めて知ることができた。」という声を聞くことができた。 ・手軽で身近なスマホや携帯にも危険があることを知り、自分の生活へ置き換えて考えることができた。	
ク 課題 ・講師の一方的な話が多かったので、子ども同士話し合ったり、実際ネットや携帯を使ったりした実技体験が少しでもあれば更に深まったと感じた。 ・自分で使い方のルールや使う方法考える必要性を感じた。 ・思ったよりも保護者の参加者が少なく、情報モラルへの関心が低いと感じられた。	